



『宇宙の謎に挑む 日本の貢献』 「Bファクトリー」から「リニアコライダー」へ

主催：名古屋大学 素粒子宇宙起源研究機構 先端加速器科学技術推進協議会 後援：高エネルギー加速器研究機構

宇宙創成・進化・終焉の謎、宇宙とそれを形作る物質・空間への探求は、まさに有史以来の人類共通の知のフロンティアへの挑戦です。私たちは、最先端の加速器実験を駆使して宇宙の初期状態を再現し、この謎に挑んでいます。日本は、「Bファクトリー」でこの分野をリードし、その成果が小林・益川両博士の2008年ノーベル物理学賞受賞につながりました。今後は、Bファクトリーを更に増強した「スーパーBファクトリー」、さらに「リニアコライダー」によって、新しい物理世界の探索、宇宙創成の謎の解明を進めようとしています。こうした探求は、名古屋大学においても、小林・益川理論を生んだ理論、「Bファクトリー」を主導する実験の双方で活発に進んでいます。本シンポジウムでは、こうした先端加速器実験における日本の貢献を紹介し、今後大型加速器を使う「国際リニアコライダー計画」において日本が果たすべき役割と意義について理解を深めます。

日時＝平成22年11月27日(土) 13:30～17:00 (13:00開場)

会場＝栄ガスビル 5階 ガスホール 名古屋市中区栄3-15-33

入場＝無料／定員250名 [事前参加申込が必要です]

先端加速器科学技術推進協議会事務局宛てに電子メール sympo@aaa-sentan.org
または FAX.029-879-6241 にてお申込下さい。[定員になり次第締切ります]

プログラム

1 開 会

2 主催者挨拶

3 講 演

『BファクトリーからスーパーBファクトリーへ』

名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構 現象解析研究センター長 飯嶋 徹

『ビッグバンを再現する究極の加速器 国際リニアコライダー計画』

高エネルギー加速器研究機構 機構長 鈴木厚人

『現代科学と社会』

名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構 機構長 益川敏英

4 パネルディスカッション：『日本の英知が宇宙の謎を解く』

パネラー：名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構

基礎理論研究センター長 棚橋 誠治

モデレーター：多摩六都科学館 館長 高柳雄一

5 総括質疑

6 閉 会



Advanced Accelerator Association
Promoting Science & Technology

先端加速器
科学技術推進
シンポジウム
2010
in 名古屋

〈参加申込書送付先〉
先端加速器科学技術推進協議会事務局 事務局宛
FAX.029-879-6241 または Email : sympo@aaa-sentan.org

先端加速器科学技術推進シンポジウム 2010 in 名古屋 〔参加申込書〕

お名前（ふりがな）：

E-mail：

FAX 番号：

以下差し支えない範囲でご回答ください。

性別：男 女

年代：10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代以上

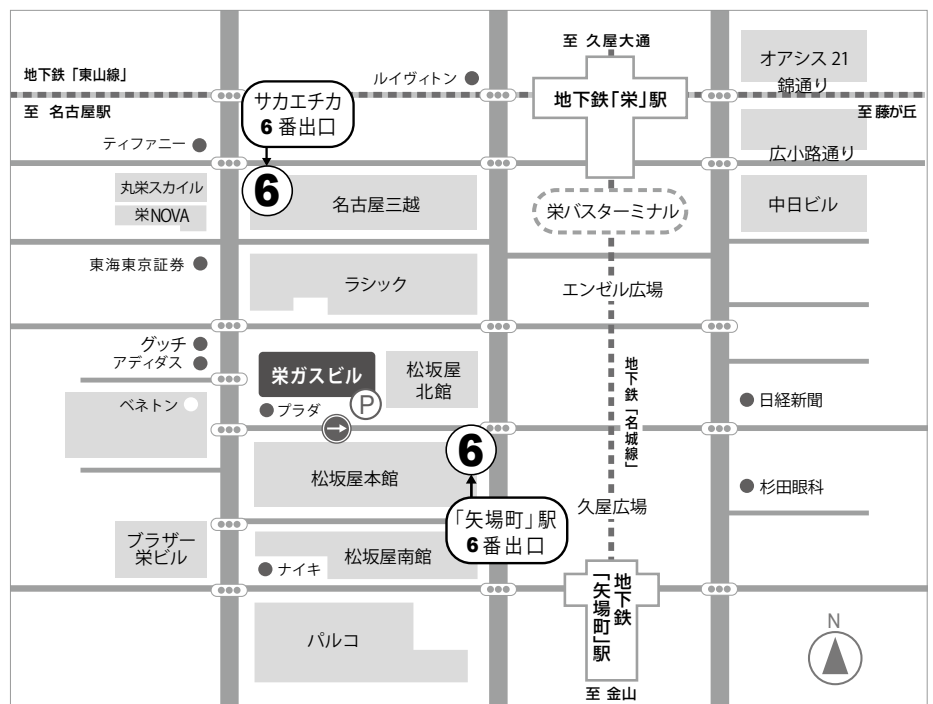
所属等：

※本申込書に記載された個人情報については、今回のシンポジウム実施に当たっての会場受付・確認に使用し、それ以外には一切使用しません。

●アクセス

■名古屋駅より

- 地下鉄東山線（栄・藤が丘方面）「栄駅」下車。
＜サカエチカ 6 番出口＞より徒歩 3 分
- 地下鉄名城線「矢場町駅」下車。6 番出口
より徒歩 2 分



●問合せ先

先端加速器科学技術推進協議会 〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1 高エネルギー加速器研究機構内
TEL/FAX 029-879-6241 <http://aaa-sentan.org/> E-mail: information@ml.aaa-sentan.org